

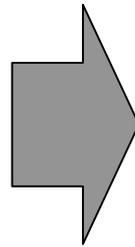
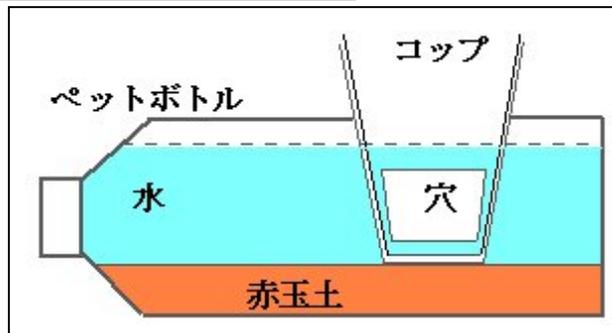


メダカの簡単飼育方法！

飼育方法の基本的な考え

- メダカへのストレスを考え、水深は5～7センチぐらい（深さよりも広さが重要）で、エアレーション（ブクブクさせるもの）はせず、ろ過装置は使用しません。メダカが疲れてしまいます。
- 水かえはひと月に1回で、2分の1ぐらいの量を交換（こうかん）します。
- メダカはオス・メス各1匹、またはメス2匹・オス1匹ぐらいにします。

手軽なメダカの飼育方法



- 手に入れやすさ、大きさ、加工のしやすさから2リットルの角型ペットボトルを使用します。
- 水そう内には赤玉土を入れ、メダカはオス・メス各1匹で、水草も入れておきます。
- ペットボトルには一か所だけ穴をあけ、そこには横に穴をあけたプラスチック製のコップを差し込みます。ペットボトルにあまり開口部をあまり作らないのは、メダカの飛び出し事故を防ぐためです。コップの部分はペットボトルよりも一段高くなっているため、そこから飛び出す可能性は低いです。
- プラスチックのコップは二重にし、どちらにも下のほうにメダカが出入りできるような穴をあけます。これによって、2つのコップを回転させることで、中にメダカを閉じ込めたり自由に出入りさせたりすることが出来ます。そして、このことは次のような利点があります。



■水かえが容易！

- ◇コップの中に毎日えさを与えていると、メダカはえさを入れてすぐにコップの中に入る習慣が身につくようになります。これを利用して、水かえの際には、事前にメダカをコップの中に閉じ込めてしまうとよいのです。
- ◇後は流し台や机の角に持ってきて（下にバケツを置く）、ふたを開ければ、自然と水は外に出て行きます。しかも、はじめの水位のちょうど半分ほどで、水の流失は止まってくれます。
- ◇水質的には1か月に1回の水かえでも問題ないのですが、においが多少気になってくることがあります。その際には適当な間隔（早くて1週間くらい）で水かえをしていくとよいでしょう。